

第8回

日本の気候と 各地のくらし



台風による暴風雨 (沖縄県)

台風がもたらすものは？

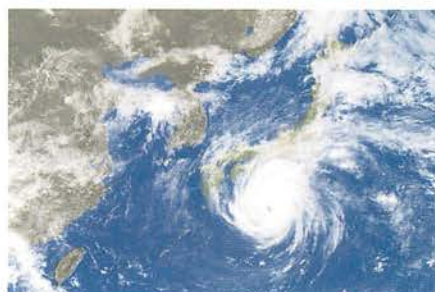
Q

台風は、夏から秋にかけて日本に近づき、上陸することもあります。台風は、何をもたらすのでしょうか。

A

台風は、短い間に大量の雨を降らせます。洪水や土砂くずれなどを起こし、人の命をうばうこともあります。建物がこわれたり、農作物がだめになったりもします。

しかし、台風は、被害をあたえるだけではありません。一つの台風には、一年間に日本で生活のために使われる水の量をこえる雨がふくまれているといわれます。台風がもたらす雨は、飲料水・農業用水・工業用水などとして、人々のくらしをささえているのです。



日本に近づく台風

1 雨や雪の多い日本

日本は、ほとんどが温帯に位置しています。世界の中でも、降水量がわりあいに多い国の一つです。

① 季節風

季節風は、山地にぶつかって雨や雪を降らせます。夏には、おもに南東の季節風が太平洋側にふきます。また、冬の北西の季節風は、日本海側に多くの雪や雨を降らせます。

② 海流

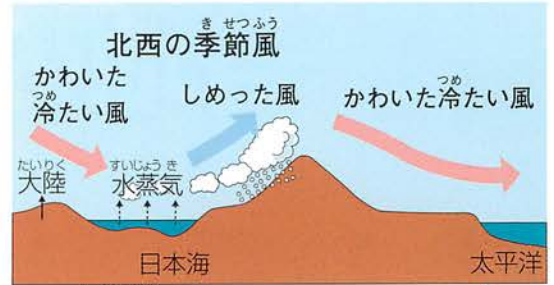
日本は、まわりを海にかこまれているため、暖流（日本海流・対馬海流）や寒流（千島海流など）の影響を受けます。

③ 梅雨（ばいう）

九州・四国・本州では、6月から7月にかけて雨が多くなります。

④ 台風（Q&A）

熱帯で発生し、毎年10個あまりが日本に近づき、そのうちの数個は上陸します。



冬の季節風がもたらす雪や雨

冷たくしめった冬の北西の季節風が、日本海からふいてきます。この風が、日本海側に多くの雪や雨を降らせます。特に、雲が山地にぶつかる山ぞいの地域では、降水量が多くなります。山地をこえると、季節風は冷たくかわいた風となって、太平洋側にふきおろします。

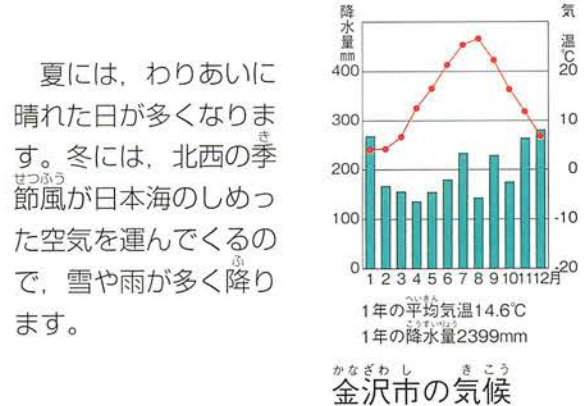
一方、夏には、水蒸気をふくんでしめった南東の弱い季節風が太平洋からふいてきます。このため、太平洋側の地域では、むし暑くなります。

2 日本の気候を分けると？

① 太平洋側の気候



② 日本海側の気候



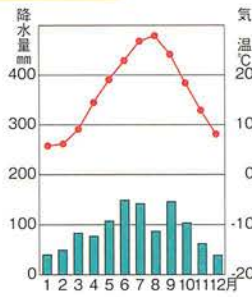
ひとくちメモ

温帯

わりあいに温和な気候で、春夏秋冬の四季がはっきりしている地域のこと。熱帯は、一年中気温が高く、雨が多く降る地域です。

③ 瀬戸内の気候

四国山地と中国山地にはさまれた地域です。一年中雨が少なく、温和な気候です。

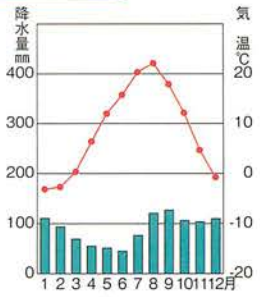


1年の平均気温16.3°C
1年の降水量1082mm

高松市の気候

④ 北海道の気候

冬が長く、寒さのきびしい気候です。ほかの地域ほど、梅雨の影響を受けません。一年を通じて、降水量が少ない地域です。



1年の平均気温8.9°C
1年の降水量1107mm

札幌市の気候

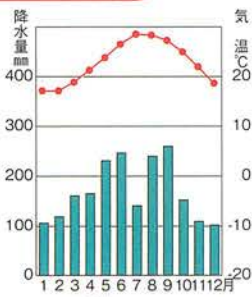
② 日本海側の気候



① 太平洋側の気候

⑤ 南西諸島の気候

一年を通じて、気温が高い地域です。台風の影響を受けやすく、降水量が多い気候になっています。

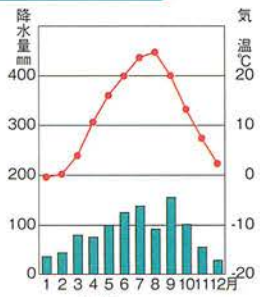


1年の平均気温23.1°C
1年の降水量2041mm

那覇市の気候

⑥ 中央高地(内陸性)の気候

夏と冬の気温の差(年較差)、昼と夜の気温の差(日較差)が大きいことが特徴です。まわりを山にかこまれているため、降水量が少ない地域です。



1年の平均気温11.8°C
1年の降水量1031mm

松本市の気候

ひとくちメモ

高潮 海岸近くの海面が、異常に高くなること。台風などが通過するときによく見られる現象です。

3 日本の気候と自然災害

① 雪害

北海道から中部地方にかけての日本海側は、冬に雪が多い地域です。大雪のため家がつぶれ、交通機関や電気が止まるなどの被害が出ます。家のつくりをじょうぶにし、道路に消雪パイプなどをつくって、雪害にそなえています。

② 冷害

夏に気温が低かったり、日照時間が短かったりすると、作物が大きな被害を受けます。冷害の原因としては、東北地方の太平洋側にふくやませや、北海道の南東部で発生する濃霧があります。

③ 霜害 (霜の害)

朝の冷えこみがきびしいときには、霜によって、作物が被害を受けやすくなります。作物をビニールでおおう、ファン(扇風機)で空気を循環させるなどの方法で、霜を防いでいます(73ページ)。

④ 干害 (日照りの害)

水不足によって、作物が枯れてしまいます。雨の少ない地方では、ため池が作られてきました。ダムや用水路が作られたため、被害は以前にくらべて減りました。

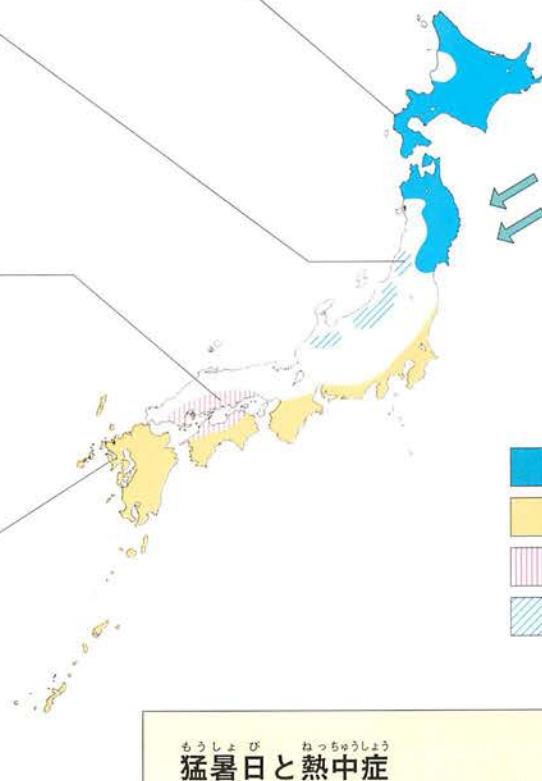
⑤ 風水害

梅雨・台風などが原因となって起こります。水害を防ぐために、山に植林をする、ダムにためる水量を調節する、堤防をつくるなどの対策が行われています。

猛暑日と熱中症

一日の最高気温が35℃以上の日を、猛暑日といいます。日本では、ここ数十年の間に、気温が上がってきています。

暑い中で体を動かすと、体温を調節しにくくなってめまいなどを起こす熱中症にかかることがあります。夜間や室内でも、高温だったり、しめり気が高かったりすると、熱中症になることがあります。水分や塩分をとって、体を冷やすことが必要です。



- 冷害の多いところ
- 台風の被害の多いところ
- 干害の多いところ
- 雪害の多いところ

ひとくちメモ

やませ 東北地方の太平洋側で、初夏におもに北東からふく、冷たくしめった風。寒流の親潮(千島海流)とともに、冷害の原因となります。

学習を深めるページ

天気とわたしたちの暮らし

① 天気や気温を知ろう！

人々は昔から、雲・風・動物などの自然を観察して、天気を予想し、季節の変化を感じとってきました。次の歌は、今から1100年あまり前の人がよんだものです。

秋来ぬと 目にはさやかに 見えねども
 風の音にぞ おどろかれぬ
 (秋になったことが、目にははっきりと見えな
 いけれど、風の音でその気配に気づいて、お
 どろきました。)



種まきじいさん (○の部分)

春になると、山はだの雪がとけて、いろいろな形に見えてきます。これを雪形といいます。山形県の庄内平野では、毎年、鳥海山に現れる「種まきじいさん」とよばれる雪形を、田植えを行う時期のめやすとしてきました。

② 天気予報の役割は？

今では、日本や世界で観測されたデータや、気象衛星からの情報などを分析して、天気予報が出されます。天気予報には、大雨など、気象による災害をできるだけ防ぐ目的があります。毎日の生活でも、「洗濯物を外に干せるか」「かさを持って出かけた方がよいか」など、行動のめやすを人々に知らせるはたらきがあります。

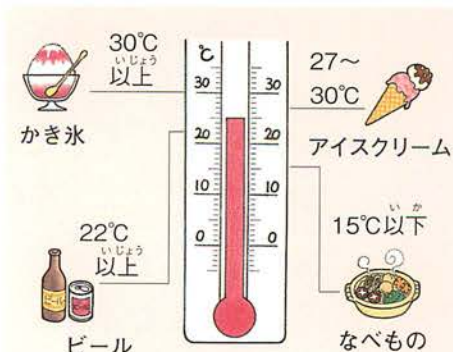
また、農業では、気温や日照が作物の育ち方に影響をあたえます。気象の変化を知って対策を立てることが、必要となるのです。



農家に提供される気象情報の例

③ 気温で売れゆきが決まる？

気温が27℃をこえると、アイスクリームがよく売れ始めます。また、秋になって、気温が前日よりも下がるようになると、おでんを買う人が増えます。このように、気温や天気は、商売にも影響をあたえます。



売れゆきがのび始める気温は？



☑問1 同じような気候の特色をもつことによって分けられた地域を、気候帯（気候区）といいます。日本の多くは、何という気候帯にふくまれますか。

☑問2 季節によって、風向きがちがう風のことを、何といいますか。また、この風は、夏と冬には、それぞれおよそどの方位からふいてきますか。

☑問3 九州から本州にかけての地域では、6月ごろからほぼ1か月にわたって、雨の多い日が続きます。この雨の多い時期を何といいますか。

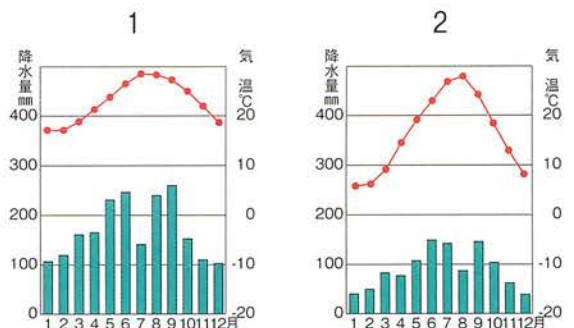
☑問4 熱帯で発生し、8～9月を中心に、強い風や雨をともなって、日本に多くやって来るものは何ですか。また、これが通過するときなどに、海面が異常に高くなる現象を、何といいますか。

☑問5 次の1～3の特色をもつ気候をそれぞれ下から選んで、記号で答えなさい。

- 1 夏はわりあいに雨が少なく、冬に雨や雪が多く降ります。
 - 2 梅雨や台風の影響をあまり受けません。冬は、気温が特に低くなります。
 - 3 夏はむし暑く、冬は乾燥した晴れの日が多くなります。
- ア 太平洋側の気候 イ 中央高地の気候
ウ 北海道の気候 エ 日本海側の気候

☑問6 右の1・2のグラフが示している都市をそれぞれ次から選んで、記号で答えなさい。

- ア 高松市 イ 札幌市
ウ 高知市 エ 那覇市



☑問7 次の問いに答えなさい。

- 1 やませや濃霧などが原因となって起こる自然災害の名を答えなさい。
- 2 雨の少ない瀬戸内地方などで多く発生する自然災害の名を答えなさい。